

科目名	福祉住環境	英語科目名	Living Environment for All	
開講年度・学期	26年度・後期	対象学科・専攻・学年	建築学科・5年	
授業形態	講義	必修 or 選択	選択	
単位数	2単位	単位種類	学修単位 (15+30h)	
担当教員	非常勤・中野真二	居室(もしくは所属)	アトリエ慶野庄司(担当・橋本)	
電話	担当・橋本 (0285-20-2830)	E-mail	担当・橋本, hashimoto@oyama-ct.ac.jp	
授業の到達目標	授業到達目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE基準	
	1. 高齢者、障害者を取り巻く社会状況と住環境整備の重要性を説明できる	③④	A	d-1
	2. 高齢者、障害者の特性と自立支援のありかたを適用できる	③④	A	d-1
	3. 疾患・障害に応じた福祉住環境整備の考え方を具体的に説明できる	③④	A	d-1
	4. 福祉住環境を取り巻く制度や施設を正しく評価できる	③④	A	d-1
5. 福祉住環境整備を実践するための基礎知識を正しく説明できる	③④	A	d-1	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
各達成目標に適した小テストの実施する				
小テスト・レポート共に60%以上の成績をもって達成とする				
評価方法				
小テスト 70%、 レポート 30%				
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間	
1. 高齢者を取り巻く社会状況と住環境			4	
2. 障害者を取り巻く社会状況と住環境	授業の復習		4	
3. 障害のとらえ方とリハビリテーション、自立支援	授業の復習		4	
4. 高齢者、障害者の心身の特性と自立支援のあり方	授業の復習		4	
5. 疾患別にみた福祉住環境整備の基本	授業の復習		4	
6. 障害別にみた福祉住環境整備の基本	授業の復習		4	
7. 福祉住環境整備とケアマネジメント	授業の復習		4	
8. 福祉住環境整備の進め方	授業の復習		4	
9. 福祉住環境整備関連職への理解と連携	授業の復習		4	
10. 福祉住環境整備の基本技術	授業の復習		4	
11. 生活行為別福祉住環境整備の手法	授業の復習		4	
12. 福祉住環境整備の実践に必要な基礎知識	授業の復習		4	
13. 福祉用具の活用(1)	授業の復習		4	
14. 福祉用具の活用(2)	授業の復習		4	
15. 福祉住環境整備の事例	授業の復習		4	
自学自習時間合計			60	
キーワード	建築、人間工学、住環境、福祉			
教科書	福祉住環境コーディネーター検定試験公式テキスト2級			
参考書				
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	インテリアデザイン、建築計画ⅠA、建築計画ⅠB、建築設計1A・ⅠB、建築計画Ⅱ			
現学年の関連科目	建築計画Ⅲ、建築法規、建築ゼミナール			
次年度以降の関連科目				
連絡事項				
授業の内容を理解して、ぜひとも福祉住環境コーディネーターの検定試験に挑戦して合格してください。				
シラバス作成年月日	2014年3月3日			